

## 1.開催に向けた準備

## (1)法人設立について

一般社団法人九州経済連合会及び一般社団法人九州自転車競技連盟は、国際自転車ロードレース「ツール・ド・九州」の準備・運営を担う、本実行委員会の運営事務局として新法人を設立した。

## (新法人の概要)

大会ロゴマーク



名称	一般社団法人ツール・ド・九州
設立日	2022年3月1日
事務所	福岡市中央区天神1丁目16-1

## (2)国際自転車競技連合(UCI)へ開催申請(6月末予定)

\*申請は日本自転車競技連盟(JCF)を通じて行い、結果については10月中旬発表予定

大会名称	ツール・ド・九州2023/Tour de Kyushu 2023
主催	ツール・ド・九州2023実行委員会
開催時期	2023年10月(予定)
レース形式	クリテリウム(北九州市)、ステージレース(福岡県・熊本県・大分県)
参加想定	国内外18チーム(予定)

### (3)2022年度開催準備計画

- ①外国人競技ディレクターの採用(4月) コース候補地視察(5月)
- ②UCI公認申請結果発表 10月中旬
- ③国内外チーム招聘交渉 11月～
- ④レース運営及び安全対策にかかる準備、地元調整
- ⑤広報及びマーケティングの実施、映像配信にかかる準備
- ⑥大会に向けた機運醸成:開催県と連携し大会に向けた機運醸成、ディスカバー九州推進委員会との連携

### (4)(仮称)ツール・ド・九州ワーキンググループ新規設立(案)

2023大会のUCI申請後、2024年大会、及びそれ以降の大会スケジュール、参加条件、負担割合(県・九経連)について参加希望県に加え、九州全県、経済界と情報共有、調整を行うもの。

- ・日程:2022年6月(予定)
- ・参加メンバー:九経連及び各県担当課長

### (5)広報啓発、機運醸成

- ・UCI開催決定前  
HP上でのイメージ動画配信、自転車イベント等でのPR活動を行う  
主に自転車関係者、サイクリストを中心に開催機運醸成を図る。
- ・UCI開催決定後  
日程、コース、参加チーム、選手等の紹介を、大会HP、SNSに加え  
一般紙、TV広報、専門誌等広く一般に向けて広報を展開する。

R4. 5. 22日田川開き観光祭での大会PR



## (6) 競技ディレクター コース予定地視察実施(2022年5月13日～5月17日)

### ・競技ディレクター略歴

Graham Jones(グラハム ジョーンズ) イギリス マンチェスター出身(64歳)  
現役時はツール・ド・フランス、ジロ・デ・イタリア等世界最高峰のレースに出場  
引退後は国際自転車レースのルートディレクターなどを務める傍ら、BBCのコメンテーター等  
歴任、現在は、ツール・ド・ランカウイ(マレーシア)レースディレクター等として活動

### ・グラハム氏からの助言等

#### ○安全性の確保

- ・危険個所の事前周知を徹底し、選手等に確実に認識させること。
- ・コース設定については、審判や運営スタッフ連携の視点からも検討すること
- ・下記の点について、更なる詳細な検討を行うこと  
選手・チームカーの導線と退避場所  
選手と観客を区分する設備・人員配置、緊急車両等の配置、交通規制の必要エリア・時間帯

#### ○観客を楽しませるコース設定

- ・訴求力のある見栄えのするロケーションでのレース実施と集客確保のための取り組み実施
- ・サーキット(周回コース)でのレースでは、選手同士が競り合う見せ場づくりへの工夫が必要

